

	自 己 評 価				達成状況	学校関係者評価 学校関係評価者の意見	今後の方向 (改善計画等)
	評価項目と具体的取組	評価指標	達成度判断基準	取り組みの状況			
① 組織的な 学校運営	<p>〈組織的な学校運営〉</p> <p>各主任が中核となり現状課題に対する改善提案をして、教職員各々が校務に責任をもち、丸となって学校教育目標の具現化を図る。</p>	<p>【成果指標】</p> <p>実態把握と現状課題に対する取り組み提案がされ、組織的に対応し成果を上げている。</p>	<p>提案が改善工夫され成果があった割合が</p> <p>A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満</p>	<p>「成果があった、だいたいあった」と答えた職員は、88%(7月)→95%(12月)であった。組織としての対応や工夫改善を図っていくことは大切にしていかなければならない。</p>	A	<p>・学校組織を十分に理解したうえで、現状認識を把握する課題に対して改善工夫を重ね、その提案を組織的に意識的に授業で実践されている様でたいへん結構なことと思われる。次年度、先生方が異動されても、その成功事例を共有し、新任教師にも引き継いでいって下さい。</p>	<p>・次年度、体育科の研究に加え算数科での授業力向上をめざして校内研修の範囲を広げていく。</p>
	<p>〈教職員研修〉</p> <p>教職員は、積極的に研修に努め、その成果を他の教職員と共有し、本校にとって有効なものを共通理解し実践に結びつけていく。</p>	<p>【成果指標】</p> <p>紙面を伴う研修報告を行い、成果を共有して、本校にとって有効なものを実践に結びつけている。</p>	<p>提案を受けて実践に結びつけられた学級数が</p> <p>A：12学級 B：10～11学級 C：8～9学級 D：7学級以下</p>	<p>校内研修会等での提案を授業で実践していると答えた職員は100%であった。この3年間の体育科実践の成果を他教科へ広げていくことを職員間で確認している。</p>	A	<p>・現在の先生方は以前と比べて大変忙しいと聞きますが、少しでも子どもたちと接する時間を持って頂ければと思います。</p>	<p>・いじめアンケートにより訴えのあった児童の話は、今後も必ず聞くようにする。また、教師間での情報交換、情報共有に努める。いじめは許されないことであることを常に意識している教師集団を維持していく。</p>
	<p>〈いじめ・不登校対応〉</p> <p>児童理解の会を月一回開催し、いじめ及び児童の実態把握に努め、子どもたちの出すサインを見逃さない体制ができている。</p>	<p>【成果指標】</p> <p>児童の思いを柔軟にとらえる教師集団が子どもたちの居場所のある学校づくりに励んでいる。</p>	<p>見逃さない体制が出来ていると思う教師が</p> <p>A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満</p>	<p>子どもたちからのサインを見逃さないという意識は100%の教師が持っている。多くの大人の眼で児童の変化を見ていることができている。</p>	A		
② 確かな 学力の 育成	<p>〈授業改善〉</p> <p>児童の実態を把握し、学び合い活動が見られる効果的な指導法を図り、授業力向上に努める。【学びの指針第6条】</p>	<p>【成果指標】</p> <p>学校研究の「かかわる」に関連し、授業の中で児童が関わり合いながら協力し高め合っている。</p>	<p>児童が互いに関わり合いながら、高め合っていると感じる教師が、</p> <p>A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>関わり合いを感じている教師の割合は80%以上上がってきている。研究の体育科から他教科にも広がりがもたれるようになった。授業の中で学習形態の工夫が成果として出てきている。</p>	B	<p>・概ね80%以上の子どもたちは授業をたのしく感じ、一生懸命に勉強しているようですが、低学年の一部にあまり一生懸命でない子が倍増しております。また、高学年では授業があまりたのしくないと15%もおります。100%ということは難しい事かも知れませんが、確かな学力の向上には、個人差があり大変だと思いますが、子どもたちにやる気を持たせる工夫が必要です。</p>	<p>・体育科から他教科への広がりや次年度での最大の課題とする。そのための授業での工夫、手立てを考えていく。(見通しを持たせる、発表時の意識、ペア、グループ学習の積極的な導入、異学年交流の充実等)</p>
	<p>〈学力の検証〉</p> <p>国語、算数の学習内容の確実な習熟を進め、活用する力を育てる授業実践をする。【学びの指針第3条】</p>	<p>【成果指標】</p> <p>学力向上プランに取り組み、国語と算数において、学習内容の習得と活用能力が高まっている。</p>	<p>国語・算数の単元末テストの達成度平均が</p> <p>A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>国語85%、算数82%であった。基礎基本のさらなる徹底と単元テストを行う前の習熟を行う必要がある。</p>	B		<p>・基礎基本の学力の習得の手立てと併せて、弱点とされる活用力問題、作文問題の克服に向けた指導を行っていく。</p>
③ 豊かな 心の 育成	<p>〈積極的な生徒指導と学級づくり〉</p> <p>授業の中で、積極的な生徒指導の視点から認め合い、励まし合う人間関係を向上させ、生き生きとした楽しい学級づくりをする。</p>	<p>【成果指標】</p> <p>授業を中心に、認め合い、励まし合う人間関係が高まり、児童が楽しく学級生活を送っている。</p>	<p>楽しい学級だと感じている児童の割合が</p> <p>A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>クラスのなかまと楽しく学んだり、遊んだりしている児童は90%以上を占めている。</p>	A	<p>・読書活動にクラスや学年間に取り組みの温度差があるようすが、読書の習慣は人間形成に大変重要です。読書の大切さを指導してあげて下さい。</p>	<p>・生徒指導の三機能を活かした授業づくりを具体的に確かなめながら、あたたかい学級集団をめざしていく。</p>
	<p>〈読書活動の充実〉</p> <p>伝統ある読書活動を基盤に、学校の実態に合わせた取り組みを充実させ、進んで本に親しむ環境を整備し、豊かな情操を養う。【学びの指針第8条】</p>	<p>【成果指標】</p> <p>朝読書の充実と「おすすめ10冊(5冊)」をすべて読み終えるよう取り組んでいる。</p>	<p>おすすめ10冊を読み終えた児童の割合が</p> <p>A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満</p>	<p>本のとびらの本を「おすすめ10冊」に取り入れたり、おすすめの本をふやしたり、学組へ声かけしたりした結果、読み終えた子が88%になった。</p>	A	<p>・子どもたちが主体性を持ってその目標達成に向けての取り組みは素晴らしい事であり、達成率は低いようすが、子ども達にはさらに向上をめざした取り組みを継続するよう指導助言をお願いします。</p>	<p>・おすすめ10冊の冊数と本の幅を広げたこと、「みんなで読もうこの1冊」/本のとびら」を追加したこと、学年から学級単位での取り組み等、読書活動の充実と効果があったことを活かして、本と子どもたちを結ぶ機会を増やす手立てを次年度も実践していかなければならない。</p>
	<p>〈主体性の育成〉</p> <p>児童が学年を越えた様々な取り組みの下で、主体的に生活目標達成に向けて取り組んだり、規範意識の高め合ったりできるように指導を工夫する。</p>	<p>【成果指標】</p> <p>児童会を中心として、生活目標の達成や規範意識の向上に向けて、自主的な取り組みを進めている。</p>	<p>生活目標に対するクラスのためを達成できた児童の割合が</p> <p>A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満</p>	<p>月1の全校集会や学級活動で指導したが、生活目標を達成できたと思う児童は65%であった。</p>	C		
④ 健やかな 体の 育成	<p>〈体力づくり〉</p> <p>体育授業の充実とスポチャレや一校一プラン、異学年交流等年間を通した体力づくりの取り組みを進め、運動の日常化と体力の向上を図る。</p>	<p>【成果指標】</p> <p>体育の授業を中心に、年間を通した体力づくりに、意欲的に取り組んでいる。</p>	<p>運動が楽しい、できるようになったと感じる児童の割合が</p> <p>A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>体育授業の充実とパワーアップタイムの体力づくりの取組を進めることで、運動に喜んで取り組めるようになった。</p>	A	<p>・体育の授業にいろいろと工夫されている様子がうかがえます。健やかな体の育成には運動がたのしいと感じて積極的にチャレンジすることが大切です。また、スポーツのたのしみを体で覚えることが肝要です。変わらぬご指導を期待します。</p>	<p>・体育科授業を支えるパワーアップタイム、スポチャレなど体力づくりの取り組みを次年度も継続していく。</p>
	<p>〈健康教育〉</p> <p>自己管理能力の育成</p> <p>健康・安全・食育について、教科・特活と関連付けて計画し、総合的、系統的な指導を行って効果を上げる。</p>	<p>【成果指標】</p> <p>けが防止等の自己管理能力に成果があり、健康的な生活を意識できる児童が増える。</p>	<p>成果があり意識の向上が見られる児童が</p> <p>A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満</p>	<p>学校保健委員会で姿勢について考える時間を設けたり、身だしなみチェックを毎週行ったりすることで、自分の身体に關心を持てるようになった。</p>	A		<p>・学校保健委員会への保護者の参加率の向上を第一に開催方法、内容の検討をする。</p>
⑤ 家庭・ 地域との 連携	<p>〈社会性の育成〉</p> <p>学校・家庭・地域が連携して、日常的に自然で明るいあいさつができる児童を育成する。【学びの指針第9条】</p>	<p>【成果指標】</p> <p>学校ではもちろん、家庭や地域でも、児童が身近な人に気持ちのよいあいさつをしている。</p>	<p>気持ちのよいあいさつをしていると感じている教師・保護者の割合が</p> <p>A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満</p>	<p>「あいさつをしているか」の問いに対しては「十分」「だいたい」を合わせ、教師37%保護者61%であった。教職員の割合が低い。</p>	C	<p>・あいさつについてのアンケート結果をみると、子ども達と先生方との間で、ずいぶん開きがあるようすが、とらえ方に差があるのでは？あいさつは人と人のコミュニケーションの第一歩であることを大事にして声かけを続けていくことが大切である。また、あいさつの質についても考えていく事も必要である。</p>	<p>・あいさつの評価が児童、保護者、教職員と違いがみられることが依然として続いているが、あいさつがコミュニケーションの第一歩であることを大事にして声かけを続けていくことが大切である。また、あいさつの質についても考えていく事も必要である。</p>
	<p>〈教育活動の公開と改善〉</p> <p>学校の教育活動を公開し、保護者の意見を受け止め、改善項目の向上状況を見定めながら信頼される学校づくりに努める。</p>	<p>【満足度指標】</p> <p>保護者・地域の意見を学校改善に生かしている。</p>	<p>アンケート結果で向上した項目の割合が</p> <p>A：全ての項目で B：8割の項目で C：6割の項目で D：5割以下の項目で</p>	<p>職員アンケートでは、7割以上の項目で向上しているが、すべてのアンケート結果とすると、高水準ではあるが向上した割合は微減であった。</p>	D		
	<p>〈保護者・地域への情報提供〉</p> <p>学校からの発信を充実させ、保護者に学校の経営方針や教育活動を伝え、理解と協力を得る。【学びの指針第12条】</p>	<p>【満足度指標】</p> <p>保護者に学校の経営方針や教育活動が理解されている。</p>	<p>学校の方針や様子が伝わっていると感じる保護者の割合が</p> <p>A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>伝わっていると感じる保護者割合は、90%(7月)84%(12月)であり、やや減となった。</p>	B		<p>・満足度指標が低いようすが、保護者の意見の中には少し難しいものもあるように感じました。理解してもらう必要があります。</p>

